

代替医療

最新ガイド

日本では漢方薬が医療用漢方エキス製剤として保険適応が認められ、現在、148処方方が通常医療で利用されています。また、医療用漢方エキス製剤は、医薬品として製造されているため、原材料の栽培・採取から製造工程に至るまで厳密な管理が行われています。

欧米では、漢方薬はサプリメントやハーブ、食品として補完代替医療に分類されています。現在、米国では漢方薬の有効性を証明するため、わが国の医療用漢方エキス製剤を用いた臨床試験が進行中で、漢方薬は海外においても注目を集めています。

それでは、がん患者が漢方薬を利用するにあたって知っておきたい点をいくつか挙げてみましょう。

何か自覚症状があった場合は、その原因が西洋医学的にとらえることができ、なおかつ有効な手段であれば、西洋医学的治療を優先します。

しかし、西洋医学で根本的な治療方法がない場合には、対症療法・支持療法として、漢方薬が効力を発揮する場合も多くあります。ですから、西洋医学と漢方医学のどちらが優れているかという点ではなく、それぞれの良いところを状況に合わせて利用することが重要です。

漢方薬の効果に疑いの余地はないのですが、その薬理作用には、いまなお不明な点が多く残されています。しかし、

近年、西洋医学の手法を駆使した研究により、作用メカニズムの解明が急速に進められています。また、臨床試験によって、漢方薬の効果も科学的に証明されつつあります。具体的には、化学療法の副作用軽減効果、がんの進行に伴う食欲不振や全身けん怠感などの改善効果、腹部手術後の腸閉塞の予防効果や腸閉塞になった際の治療効果などが複数の臨床試験で証明されています。



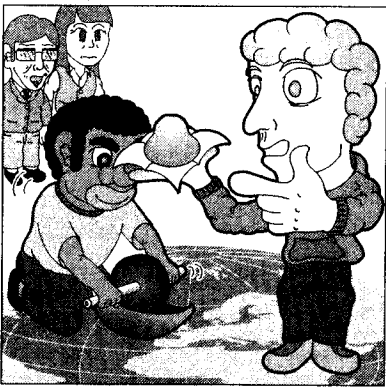
大野 智

ですから、漢方薬は、西洋医学に対する補完的な位置付けとして活用されることになり

ます。さらに、現在、漢方薬にがんの転移・再発の予防効果があるかどうかを検討する臨床試験も進められています。

漢方薬は、植物、動物、鉱物などの生薬を組み合わせたものです。天然由来の生理活性物質ということもあり、副作用がないと思われているかもしれませんが、医療用漢方エキス製剤も医薬品である以上、副作用やその他の薬との相互作用には気をつけなければならぬ点があることも覚えておいてください。

最後に、個人輸入やインターネットなどで入手したサプリメントや生薬については、利用して安全かどうかの確認は、基本的に購入者自身が行わなければなりません。その利用にあたっては製造元に確認するなど慎重な行動が必要です。(金沢大学補完代替医療学特任助教)



え・菅野庸平